

ま な び

~ MANABI 発信! ~

正月 (むつむ) 立つ、春の初めに かくしつ

相 (あひ) し笑 (え) みてば 時じけめやも

万葉集 巻18-4137 大伴家持



(正月の春の初めに、このようにして集まって共に笑い合えば、いつも楽しいことでしょう。)

「受援力」

昨年発生した能登半島の震災から1年が経ち、今なお厳しい生活を余儀なくされている方々に心からお見舞い申し上げます。

災害が発生した際などに、よく「受援力 (じゅえんりょく)」という言葉が取り上げられます。もともと「受援力」は、災害のときなどに「支援を受ける、受け入れる力」という意味で使われていますが、最近では、広く困ったときに「助けて」「手伝って」と言える力として注目されています。困ったときは一人で抱え込まず誰かに「助けて」と言えること、または、そう言いやすい環境がとても大切だと言われています。

人は、つつい「自分で何とかしよう」「何とかしなければ」と思いがちですが、誰かに頼ることは決して恥ずかしいことではありません。子どもも大人も、困ったときや、悩んだときは、いつでも「助けて」と言えるような環境を整えていきたいと思います。



「二十歳のつどい」を開催しました! (生涯学習課)



1月13日 (月) の成人の日に、DMG MORI やまと郡山城ホールで「二十歳のつどい」が開催されました。テーマは「Be Myself ~ DreamをRealに~」で、これからの人生を自分らしく歩んでいってほしいという願いが込められています。

今年は583名に参加していただき、式は厳かな中にも落ち着いた雰囲気が進み、人生の節目と一緒に祝うことができました。

二十歳の皆さんが、これからの人生の中での困難やプレッシャーにも負けず、社会でご活躍されることを心より願っています。

「大和郡山市立幼稚園 子ども絵画展」

「姉妹都市交流児童・生徒作品展」が開催されました!

DMG MORI やまと郡山城ホール展示室で、1月11日 (土) から13日 (月) に「大和郡山市立幼稚園 子ども絵画展」が、1月18日 (土)・19日 (日) に「姉妹都市交流児童・生徒作品展」が開催されました。

絵画展では、園児が描いた作品が展示され、生き生きと心を弾ませて、幼稚園での生活を楽しんでいる様子を感じることができました。

作品展では、大和郡山市と甲府市の児童生徒が作成した図工美術作品と書写作品が展示され、来場した方は作品に見入っていました。去年は、甲府市から小学生を招待し交流会も行いました。大和郡山市と甲府市の繋がりを感じることができた作品展でした。



(絵画展の様子)



(作品展の様子)

秀長さん Quiz !! 豊臣秀長と大和郡山のかかわりについて、クイズ形式でちょっと紹介します。

(問) 郡山城の西側には「大職冠(たいしょくかん)」という名前のバス停があります。

「大職(織)冠」とは、飛鳥時代の役人の位の名前です。当時の最高の位で、たった一人だけその位をもらった人がいます。

豊臣秀長が郡山城の守りのために大職(織)冠のその方を、今の場所で祀(まつ)ったことが由来で、そのあたりを「大職冠」と呼ぶようになりました。

では、「大職(織)冠」とは誰のことでしょうか？

(ヒント) 飛鳥時代のえらい人と言えば、、、

(1) 卑弥呼 (2) 中臣鎌足 (3) 源頼朝 正解は、3 ページ目の最後をご覧ください。



給食の献立を紹介！(学校給食事務所)

給食センターでは、毎日、安心安全でおいしい、栄養もしっかりとれる給食づくりに取り組んでいます。献立や食に関する内容をお伝えしていきます。



☆クリスマスメニューの登場☆

<小学校> 12月16日の献立です。



米粉パン
牛乳
クリスマスハンバーグ
花野菜サラダ
ミネストローネ
クリスマスケーキ

小学校は12月16日、中学校は12日に一足早いクリスマスメニューが登場しました。もみの木の形をしたハンバーグに赤、黄のパプリカを刻んだソースをかけて、クリスマスツリーに見立てています。クリスマスケーキも登場し、楽しい給食時間となりました。

★地産地消メニューの登場★



<中学校> 12月10日の献立です。



ごはん
牛乳
大和郡山うどん
ちくわのお茶揚げ
郡山の小松菜ふりかけ

小、中学校共に、12月10日は「大和郡山うどん」が登場しました。大和郡山市のJ Aさんが、朝から地元でとれる新鮮な大根や水菜、白菜などの冬野菜を給食センターに届けてくださいました。野菜たっぷりの「大和郡山うどん」を食べて、寒い冬を乗り切ってほしいと願っています。

図書館からのおすすめの1冊(大和郡山市立図書館)

『図書館にまいこんだこどもの大質問 司書さんもビックリ！』(分類015)

こどもの大質問編集部／編 青春出版社

子どもから「さいしょのにんげんは、こどもなの？おとななの？」と聞かれたらどう答えますか。また、「お姫様になりたい！」や「秘密基地を作りたい」と相談されたら、、、。この本は、そんな子どもの様々な難問、夢があふれる質問に、司書さんが様々な本(子どもにわかる簡単な言葉で難しい事象を説明している本など)を駆使して答えています。

スマホにはたどり着けない答えがここにはある！はずです。

図書館だよりでも紹介しておりますので、ご覧ください。



【教育委員会だよりについてのお問い合わせ】

学校教育課 TEL:0743-53-1151(代) (内線723)

子どもたちの姿をちょっと紹介

幼稚園・小学校・中学校に通う子どもたちの姿を紹介していきます。詳しくは各校園のホームページをご覧ください。1月号は郡山西幼稚園・矢田小学校の取組の様子です。

郡山西幼稚園

～「郡山西地区 たんけん！はっけん！すごろく」完成～

子どもたちは、郡山西小学校との交流を通して多くの経験をしています。先生同士も研修会に行き来し、子どもたちの育ちを願っています。

地域探検学習をした3年生に、地域のステキなところを教えてもらったことから「郡山西地区 たんけん！はっけん！すごろく」作りは始まりました。「大納言塚」の地域探検では、「お願いの砂箱」が魅力的で、夢中になってお願い事をした子どもたち。地域を五感で体験する楽しさを味わいました。

すごろく作りは、幼児と児童が郡山西地区を探検して発見したことを、絵柄やマス（言葉）に表したり、コマ（幼児：ボール、おにぎり、さつまいも 小学校3年生：金魚）を作成したりしました。完成したすごろくで、1月に小学校3年生と「郡山西地区 たんけん！はっけん！すごろくフェスティバル」を行いました。幼稚園での「遊び」から小学校の「学習」へと、学びの架け橋がつながることを願っています。

郡山西幼稚園 園長 木下 育子



“学びの架け橋をつなげよう”
幼小先生方の話し合い



大納言塚
“お願いの砂箱”前で願い事



すごろくで遊ぶ年長児

矢田小学校

～『楽しい！明るい！やさしい！矢田小学校』を目指して～

矢田小学校では、学校スローガンを達成するために、各クラスで話し合い、クラス目標を立てて取り組んでいます。11月末に6年生が全校集会において、「修学旅行報告会」を行いました。このような報告会は、多くの小学校で実施していると思いますが、本校ではさらに12月17日に、6年生が各クラスに出向き、学年に応じた内容で「平和について考える集会」を開催しました。この会は6年生の発案で、「矢田小学校全員、一人ずつ平和を意識してほしい」「日常の平和を大切にしてもらえるように、クラスごとに伝わりやすい言葉で伝えたい」との思いから実現しました。このように、本校では子どもたちが主体的に考え、行動することをおして、『楽しい！明るい！やさしい！矢田小学校』を目指しています。

矢田小学校 校長 片出 千尋



秀長さんQuiz 正解 (2) 中臣鎌足

現在は「大職（織）冠のクスノキ」があり、郡山の巨木としても有名です。